

# 学力向上通信

## テストの仕上げは 「間違い直し」



期末テストが終わりました。「通知表」は気になるものの、待っているのは夏休み。開放感に浸りたくなる気持ちは分かります。でも、「テスト」は、まだ終わっていません。「テスト勉強」→「テスト」→「間違い直し」でワンセットだからです。

そもそも、テストは、学習内容はどの程度身に付いているか、分かっていないことは何なのかを確認するものです。ですから、テストが終わったらできなかったことは何なのか、どうして間違ったのか、どう答えればよかったのかを分析し、できなかったところをやり直し、理解しなければなりません。テストが返されたら、必ず間違い直しをしてほしいものです。

今回は、テスト勉強のやり方の一例をご紹介します。今回は、テスト結果を利用した「間違い直し」の例をご紹介します。お盆を挟んだ2週間の夏休み、お子様と共に期末テストの徹底したやり直しをしてはいかがでしょうか。

〈なぜやる?〉 テストは、授業内容がどの程度身に付いたかを確認するものです。間違い直しによって身に付いてなかった授業内容を確認し、復習することができます。

〈いつやる?〉 解答用紙が返されたら、なるべく早く復習するのが効果的です。

〈どのようにやる?〉

1 まず、間違えた問題について間違った理由を考える。

- ・テストで間違えたところを確認する。
- ・どうして間違えたのかを考え、理解する。
- ・分からない場合は、教科書やノートを見返したり、先生や友達に質問したりして解決する。

2 できなかった理由を踏まえて、解き直してマル付け・再度間違い直しをする。

\*できない問題がなくなるまで繰り返すことが理想ですが…。

〈できれば…〉 次回のテストに向けて、学習方法の見直しを行う。

例：復習が不十分だったから、ワークブックをテスト前に2回はやるようにしよう。

例：基本的な単語が分からず英文の内容が分からなかったから、単語はすぐに書いて覚えよう。

## 学力を高める家庭学習



### Part1 「褒めて、脳の温度を高めましょう」

人は褒められると、脳（特に前頭前野）の温度が高まり、やる気を出すとされています。親から見て「遅い」「もっとちゃんとできるはず」と感じて、我慢をして待ってみませんか。そして、自主的に勉強を始めたら、チャンスです。「自分の意志で始められたね。立派だね。」などと今まで以上に褒めてください。

さらに、期末テストの成績表や通知表が配布されます。「褒めると、やる気は起きる!!」ぜひ、お子様の成績表・通知表の中から「頑張っている姿」を見つけ、脳の前頭前野をポカポカさせてください。  
(校長先生が過去に書かれた文章から一部引用させていただきました。)